

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 7 区分

【発行日】平成30年4月12日(2018.4.12)

【公開番号】特開2016-204088(P2016-204088A)

【公開日】平成28年12月8日(2016.12.8)

【年通号数】公開・登録公報2016-067

【出願番号】特願2015-85611(P2015-85611)

【国際特許分類】

B 6 5 G 61/00 (2006.01)

G 0 6 Q 50/28 (2012.01)

B 6 7 D 7/78 (2010.01)

G 0 8 G 1/13 (2006.01)

【F I】

B 6 5 G 61/00 5 4 6

B 6 5 G 61/00 5 2 0

G 0 6 Q 50/28 1 0 0

B 6 7 D 7/78 E

G 0 8 G 1/13

【手続補正書】

【提出日】平成30年3月5日(2018.3.5)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

配送先に設置された貯留タンクに液体を配送用車両によって配送及び供給するための液体配送システムであって、

前記液体配送システムに含まれるコンピュータが、

前記貯留タンクに設置され前記貯留タンク内の前記液体の残量を検出する残量情報検出部から送信された残量情報を受信する受信部と、

前記受信部によって受信された前記残量情報に基づいて、前記貯留タンク内の前記液体の残量が所定の基準量以下であるか否かを判定する判定部と、

前記配送用車両に指示情報を報知する配送指示部と、を含み、

前記判定部が、配送先の前記残量が前記基準量以下であると判定した場合、前記配送指示部が前記配送用車両に対して前記配送先に液体を配送するように指示情報を報知する液体配送システム。

【請求項 2】

前記判定部において複数の配送先を含むグループが設定され、

前記判定部は、前記グループ内の前記配送先毎の前記残量情報、前記配送先毎に設置された前記貯留タンクの容量、及び、前記配送先毎の液体消費履歴から算出される液体の標準消費量に基づいて、前記グループ内の配送先に対して所定の期間内に液体を補給できるように、前記配送先毎に固有の液体補給基準量を設定する請求項 1 記載の液体配送システム

。

【請求項 3】

前記判定部が、前記配送先の前記貯留タンクの前記液体がなくなるまでの予測時間を算出するものである請求項 1 又は 2 記載の液体配送システム。

【請求項 4】

前記判定部が、前記配送用車両に対して前記予測時間、配送先の住所、及び、配送車両の現在位置から配車優先順位を決定する請求項 3 記載の液体配送システム。

【請求項 5】

前記判定部が、前記配車優先順位の配車ルートを決する請求項 4 記載の液体配送システム。

【請求項 6】

配送先に設置された貯留タンクに液体を配送用車両によって配送及び供給するための液体配送システムであって、

前記貯留タンクが、

前記配送用車両から液体の補給を受ける液体注入口と、

貯留された液体を外部に取り出す液体取出し口と、

貯留されている前記液体の残量を検出する残量情報検出部と、

前記残量情報検出部によって検出された残量に関する残量情報を、配送元のコンピュータに送信する送信部と、を含む液体配送システム。